

宮城県知事 浅野史郎 殿  
宮城県教育長 白石晃 殿

宮城県仙台第二高等学校同窓会  
会長 西澤潤一

### 県立高校一律共学化に関する要望書(案)骨子

宮城県仙台第二高等学校同窓会は、宮城県が計画している県立高校一律共学化に関して、同窓会独自に行った調査、情報収集によるデータによって判断をしたところ、共学化については更に最新の情報と科学的資料によって、慎重に検討することが重要と考えます。

これらをふまえて同窓会の正式議決機関である常任委員会、総会の議決を経て下記の要望をいたします。

### ． 要望書の要旨

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 仙台二高、18年度共学実施の凍結を要望いたします。</li><li>2. 地域の特性を生かし、納得性のある教育施策を要望いたします。</li></ol> |
|---|

### ． 要望書の内容

(資料添付)

#### 1. 仙台二高18年度共学実施の凍結を要望します

- 1) 共学化についての意識調査によると、保護者・生徒は仙台二高の別学について良かったとする肯定の意見が多く、共学推進意見は非常に少ないことが回答されております。(添付資料参照)
- 2) 同窓会報共学特集号に伴う全会員対象のアンケートの結果は賛成24%、反対72%であります。(添付資料参照)  
いづれも無視することの出来ない同窓会員の意思表示であります。多数が母校の共学化に反対意見であり、懸念をもっていることは明白であります。
- 3) 本年1月から5月迄に3回にわたり行われた各回期常任委員代表者会議では、圧倒的な多数が共学反対の意見でありましたが、その雰囲気の中で賛成意見も提出されています。ただ、いづれも共通する条件は時間をかけて慎重に進めること、二高のみが先行する18年度実施に対する強い懸念であります。
- 4) 「共学が時代の流れ」「男女は一緒に学ぶべき」との論調がありますが、調査によると海外では共学についての見直しが進み、別学の優位性が指摘されつつあります。(添付資料参照)国内外の情報を真摯にご検討されるよう要望いたします。

18年度実施を凍結の上、慎重審議されることを強く要望いたします。

#### 2. 地域特性を生かし、納得性のある施策を要望します

- 1) 県の方針は県立高校一律共学化であります。地域による特性を考慮した教育行政が必要と考えます。少子化が進む地方の環境と大都市化している仙台市の教育環境は著しい違いがあります。地方高校、仙台市内公立高校についてもその地域の歴史・伝統・風土の特色に配慮した施策が行われることを要望いたします。
- 2) 仙台市内公立高校は伝統校と共学の新設校、共学の専門校がバランスされ、生徒が自分の意思で別学・共学を選択できる好ましい環境が整備されていると考えられます。この環境を変えるのであれば、関係者である学校、生徒、保護者、同窓会の納得が得られる科学的根拠を示されるよう要望いたします。